

2019年1月期 決算説明会

2019年3月13日



- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標等が記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されております。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しております。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

TRANZAS, Inc.

23:35:60
Business Strategy
Innovation
Branding
Solution
Marketing
Analysis
Ideas
Success
Management

23:35:60

FY19 SUMMARY

製品販売で商売をする時代はまもなく終焉を迎える
トランザスの強みを最大化する為、一気通貫ビジネスを視野に入れる



端末販売型（フロー）ビジネスからサービス提供型（ストック）
ビジネスへの転換を決断



トランザスの強みを最大化できる、新規事業基盤製品の開発
新規事業の開拓に注力

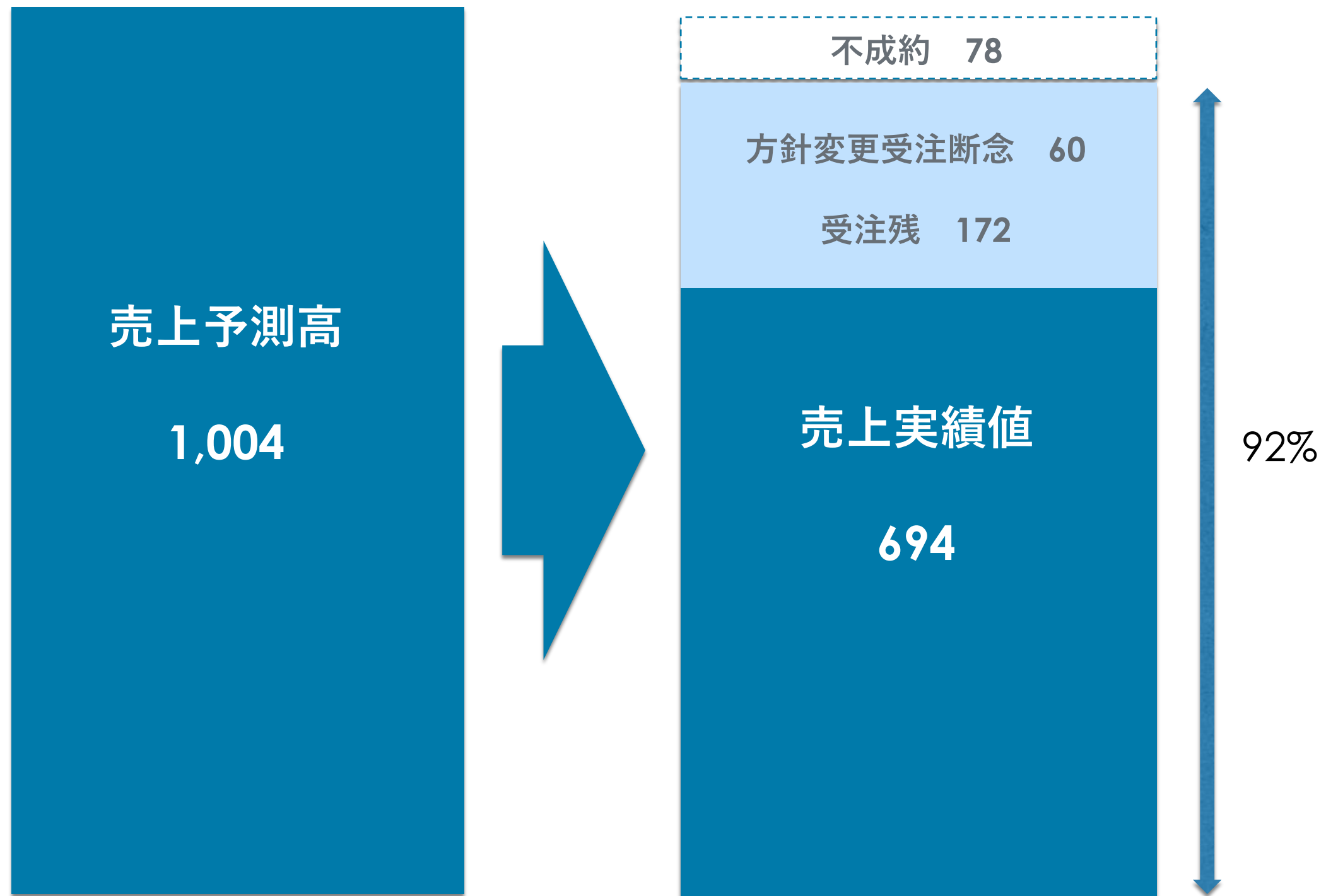
単位：百万円

	実績値	予想値	対比	
売上高	694	1,004	△309	△30.8%
売上総利益	186	354	△167	△47.3%
営業利益	△144	5	△149	—
経常利益	△146	2	△149	—
当期純利益	△166	0	△166	—

単位：百万円

	実績値	予想値	対比
映像配信分野	389	542	△153 △28.2%
販売支援分野	49	104	△55 △52.9%
作業支援分野	38	135	△97 △71.9%
IoTソリューション	479	782	△303 △38.7%
IT業務支援	215	221	△6 △2.7%
合計	694	1,004	△310 △30.9%

単位：百万円



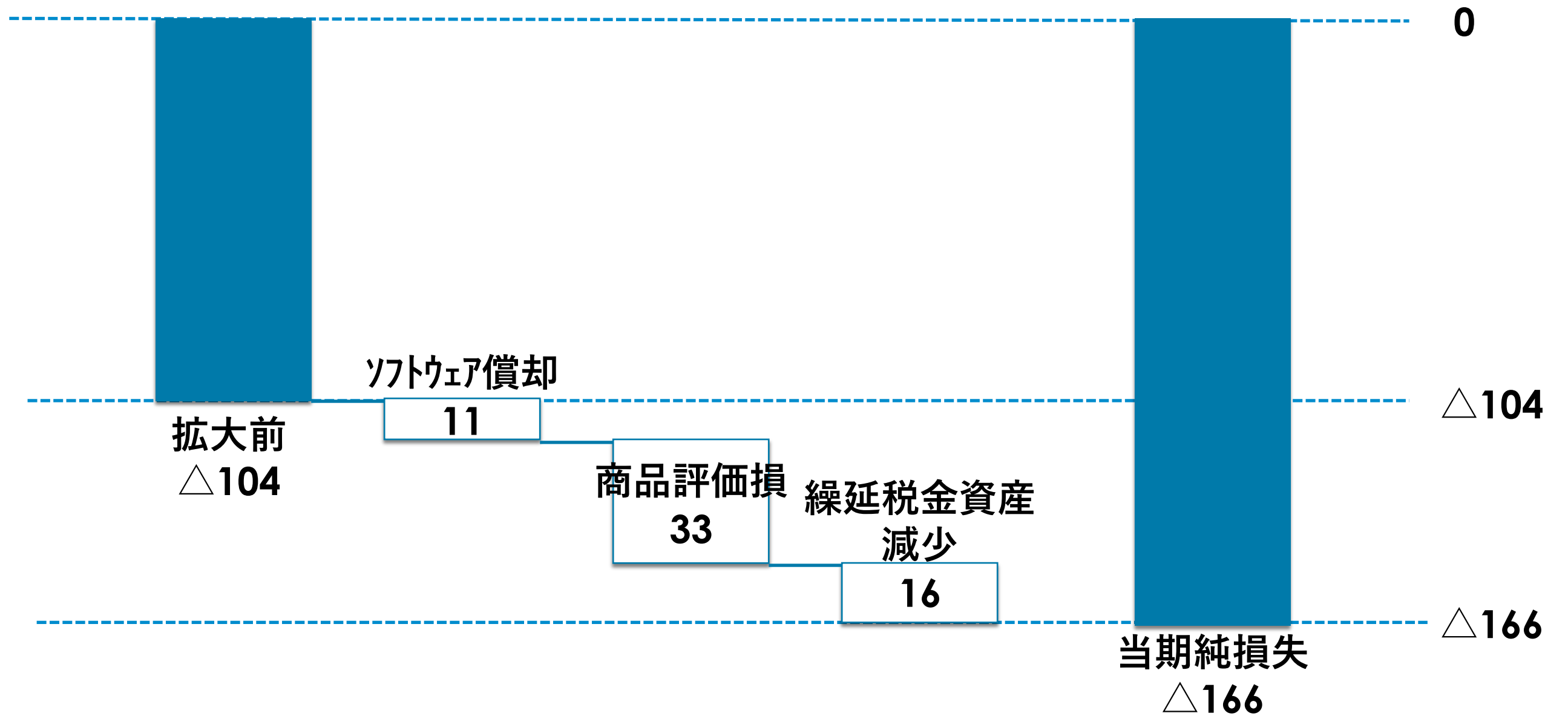
単位：百万円

	2019.1	2018.1	対比	
売上高	694	1,258	△563	△44.8%
売上総利益	186	549	△362	△66.0%
営業利益	△144	251	△396	—
経常利益	△146	245	△392	—
当期純利益	△166	152	△318	—

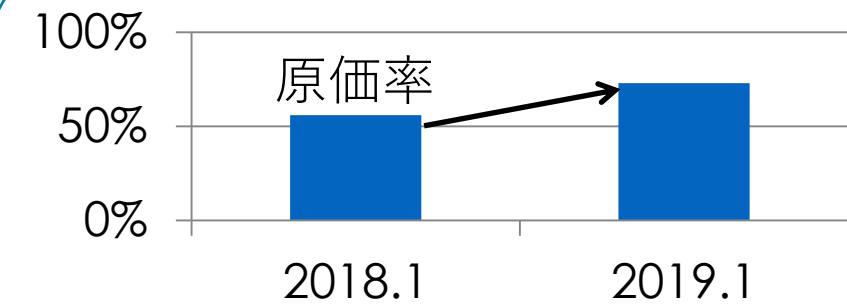
単位：百万円

		2019.1	2018.1	対比	
	映像配信分野	389	880	△491	△55.8%
	販売支援分野	49	61	△12	△19.7
	作業支援分野	38	50	△12	△24.0%
	IoTソリューション	479	992	△513	△51.7%
	IT業務支援	215	265	△50	△18.9%
	合計	694	1,258	△564	△44.8%

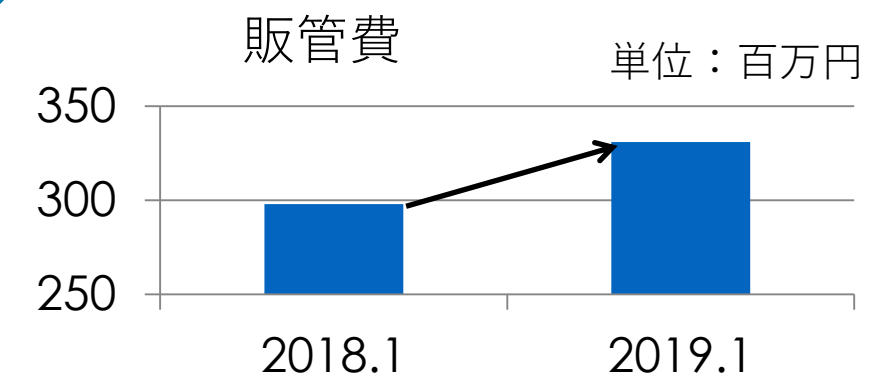
単位：百万円



<h2>売上高</h2> <h1>694</h1>	<h2>原価</h2> <h1>507</h1> <p>(原価率73.1%)</p>
	<h2>販管費</h2> <h1>331</h1>
<h2>営業損失</h2> <h1>△144</h1>	

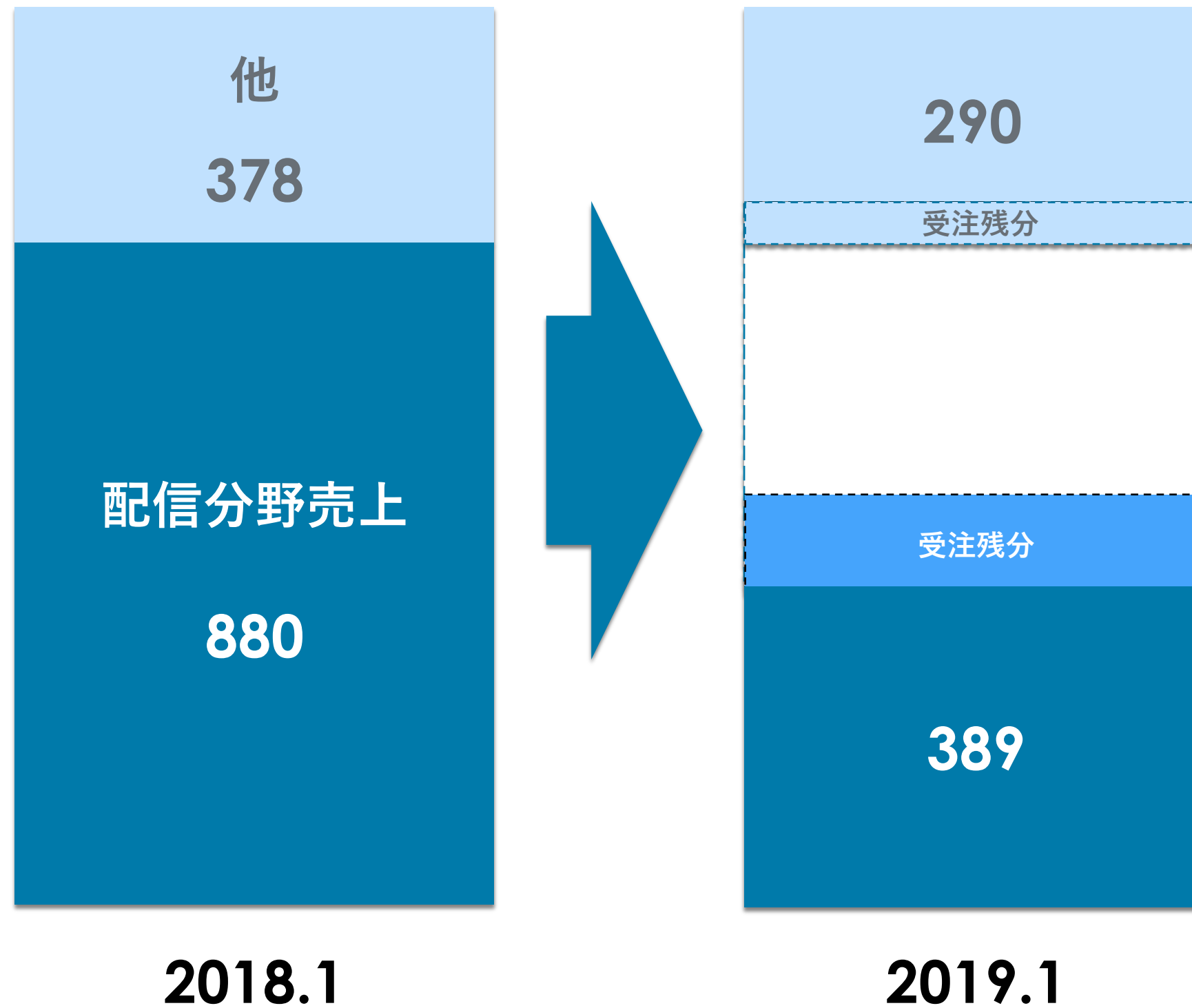


- ・商品在庫の評価損計上
- ・粗利率の高いIoTソリューションの売上比率の低下



- ・ソフトウェアの見込販売数量の見直しによる減価償却費の追加計上
- ・開発による増加

単位：百万円



STRATEGY

既存ビジネスモデルの転換期と5G/IoTプロダクトアウトへ 企業体質改善 (Industry4.0)

東京都 警備ロボット実証実験終了
2019年2月25日～28日



2019.1期迄の当社のメインビジネス

ホテル市場以外の単機能PC市場への拡大を目論む



	端末販売	サービス提供
対象HOTEL市場	100万室超	100万室超
収益タイミング	60ヶ月に1度	毎月
収益単価	12,000~25,000円	1,000~2,000円
年間収益規模	50億円超	200億円超

多数の対象市場に対してSolution構築を進める

	端末販売台数規模	収益規模
国内ハンディーターミナル市場	35万台超※1	175億円超
国内業務用タブレット市場	150万台超※2	750億円超

※1 出所：矢野経済研究所

※2 出所：IDC Japan

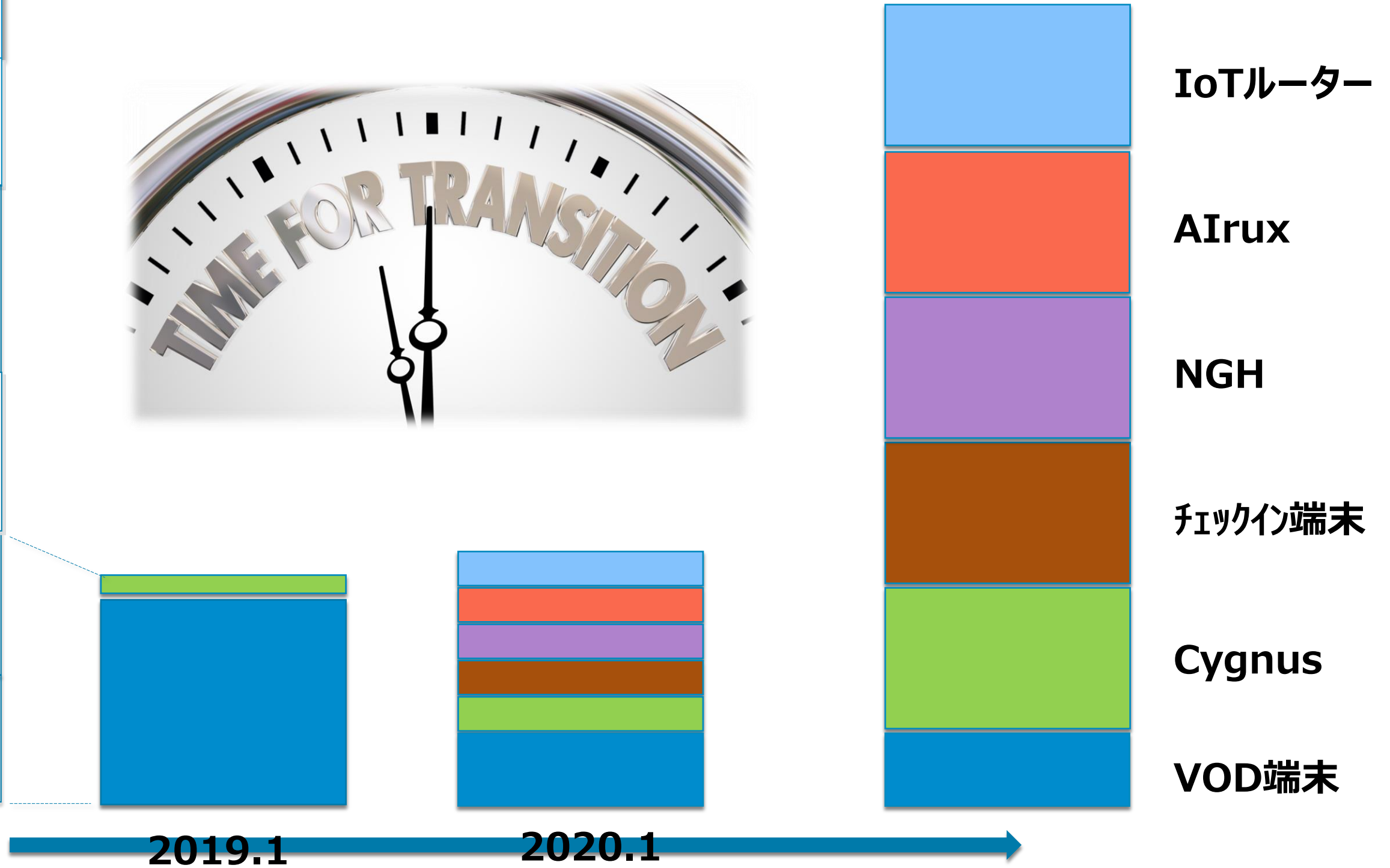
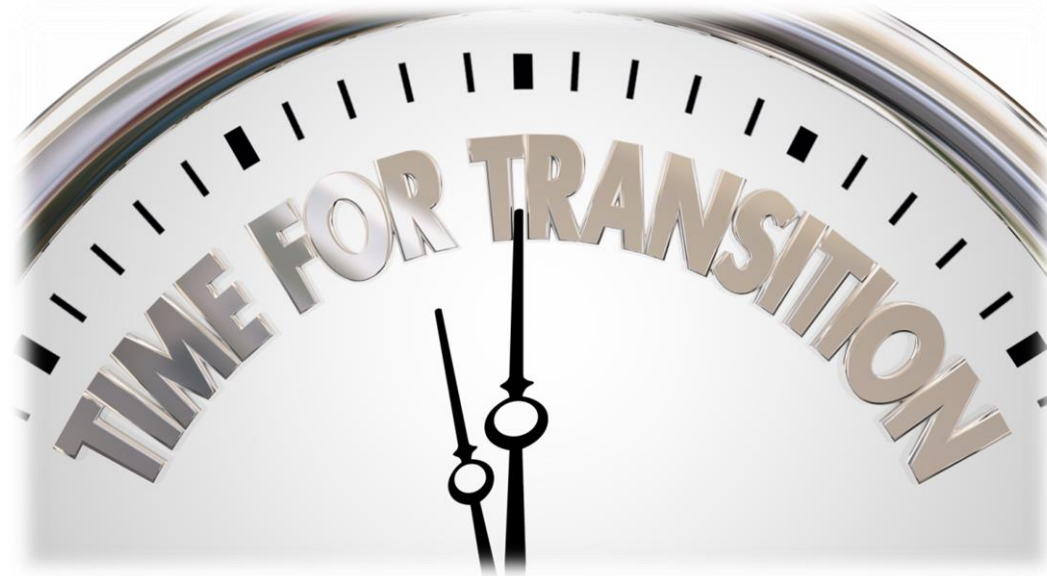
製品販売で稼ぐ時代はまもなく終焉を迎える どう製品を使うかの時代へ

2020年1月期からの当社のビジネス



ビジネス規模・ビジネスチャンスが格段に広がりました

プロダクトポートフォリオの拡充とソリューション営業の体制確立



PRODUCT

当社の既存VARを通じて、これから始まる5G市場を狙います



堅牢なセキュリティ
を誇ります

5G市場が始まったら、何が起こる？



スマートフォンが
より便利に！

どんな場所でも
5Gルーターが活躍！

3G/LTEルーター メーカーの年間販売台数は右肩上がりです。上昇中
本年夏季の販売開始より、4万台/年の出荷を短中期で目指します



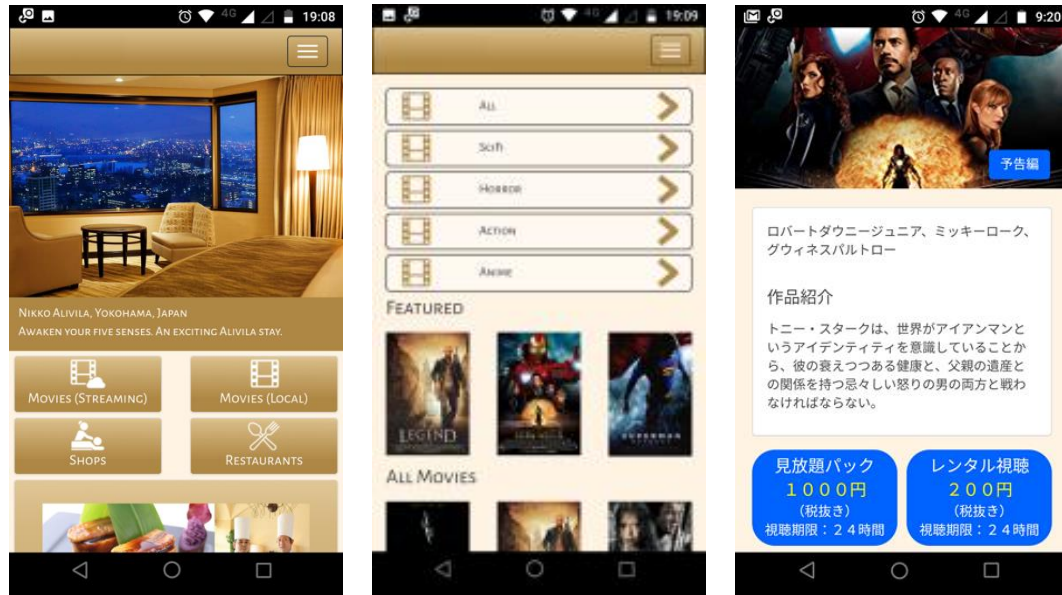
2019.2.1より運用を開始！

既に300室への導入が決定

2020春迄に1,000室への導入を予定

実証実験での1室あたりの月額収益単価
3,000円超

中長期で3万室への導入を目指します



2019.3にシステムが完成！

2019.3に特許を申請

2019.5に複数のホテルにて
実証実験を実施へ

過去、トランザスのVOD端末出荷実績は20万台超
客室単価1,500円/月 20万室を中長期で目指します

NGH次世代VODサービスと連動

2019.4に飲食店向け
実証実験を開始

2019.1にIZY社とインドネシア
マーケット戦略を開始

NGH設置先の10% &
飲食店舗への設置を目指します



Alrux Room Controller

AIルームコントローラー

弊社が提供するAIルームコントローラーを利用することで、客室内の家電製品をスマートフォンやAIスピーカーから操作することはもちろん、客室ステータスや家電をホテル側で監視、一括管理することが可能です。

また、オペレーターの操作なしで、AIルームコントローラーに自らエアコンの温度調整や照明の照度調整を行わせることもできます。これにより、電気利用量の削減や客室の清掃業務を効率化することでコスト削減を実現します。

ホテル、民泊等宿泊施設の場合

AIルームコントローラーで実現できること

導入背景	課題	解決策
インバウンド需要による競争激化	人手不足 コスト削減 顧客差別化	AI/IoT化によるルーム内「自動化」を実現

ホテル側	ゲスト側
<ul style="list-style-type: none"> 空調、照明、TV、カーテンの自動制御・遠隔操作 スマートロック ルームサービスの負荷軽減 近隣情報の配信 	<ul style="list-style-type: none"> 各種ホスピタリティサービス 近隣情報の取得 オーディング

AI頭脳を持ったルームコントロールセンサーの値にて室内の照明、カーテン、エアコン、TV等ほぼすべての機器が自動で制御する事が出来ます。

左の図は、ホテル様毎に設定頂ける、一日の時間による照明の電力調整設定です。設定値に応じた自動制御が可能となります。

TRANZAS ルームコントロールシステム

センサー(温度・湿度・入退室)

照明設備

空調設備

テレビ

カーテン

タッチパネルスイッチ

スマートフォン

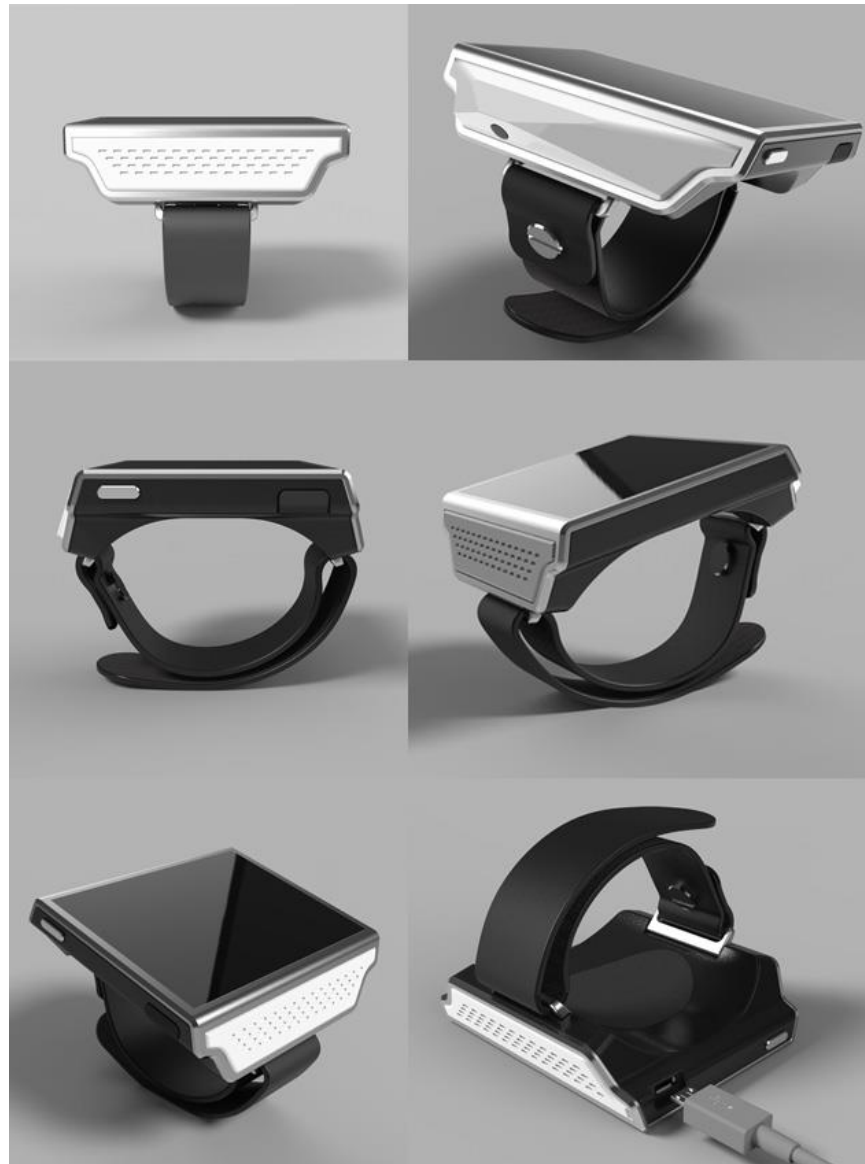
AIスピーカー

Cygnus

ロボット

クラウドサーバ

iot.tranzas.co.jp



トランシーバー端末

工場ライン管理端末

レストラン向けオーダー端末

ロジスティック向け端末

商品仕分け端末

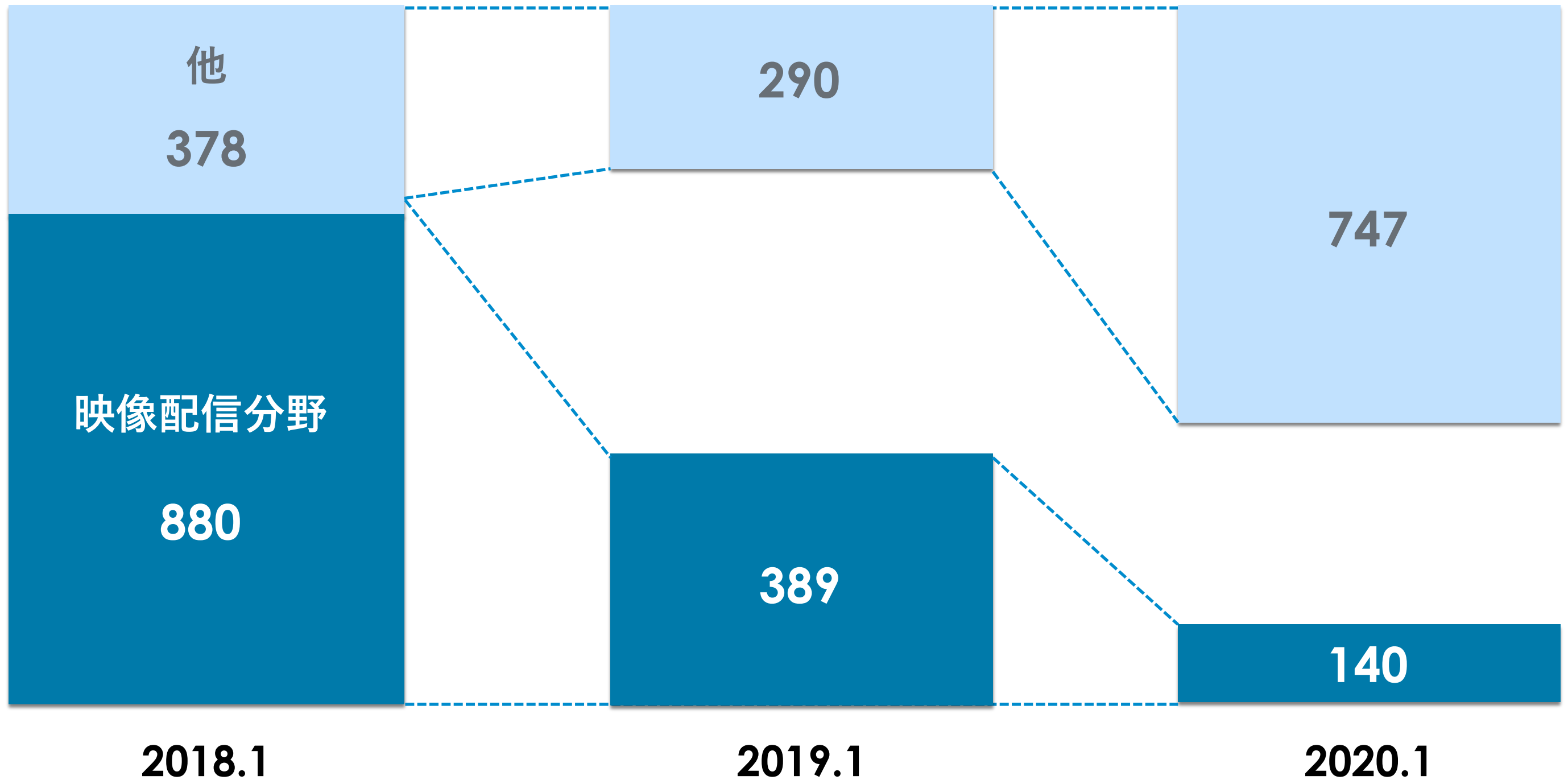
年1万台販売可能なSolutionの5ラインナップを短中期で目指します

FORECAST

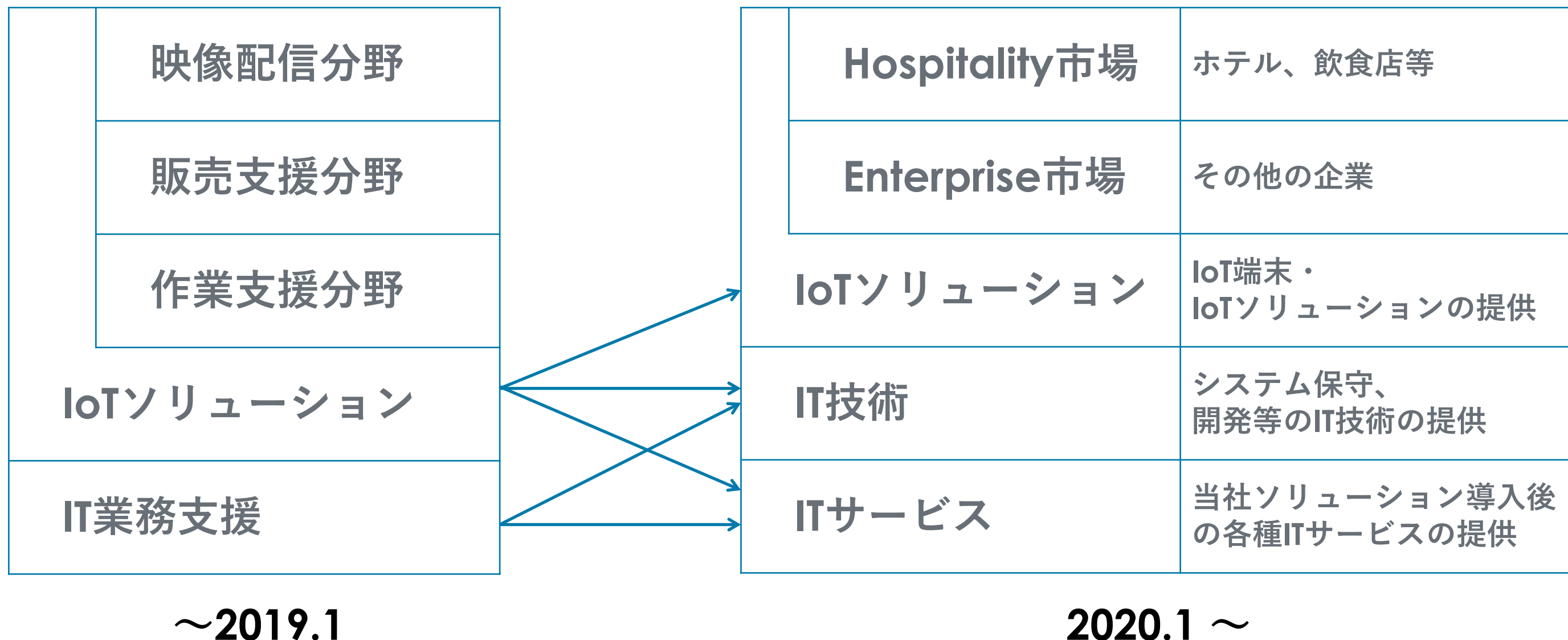
単位：百万円

	2020.1 予想	2019.1 実績	対比	
売上高	888	694	194	27.9%
営業利益	20	△144	164	—
経常利益	17	△146	163	—
当期純利益	17	△166	183	—

2020.1期、映像配信ビジネスを新規ビジネスに事業転換致します

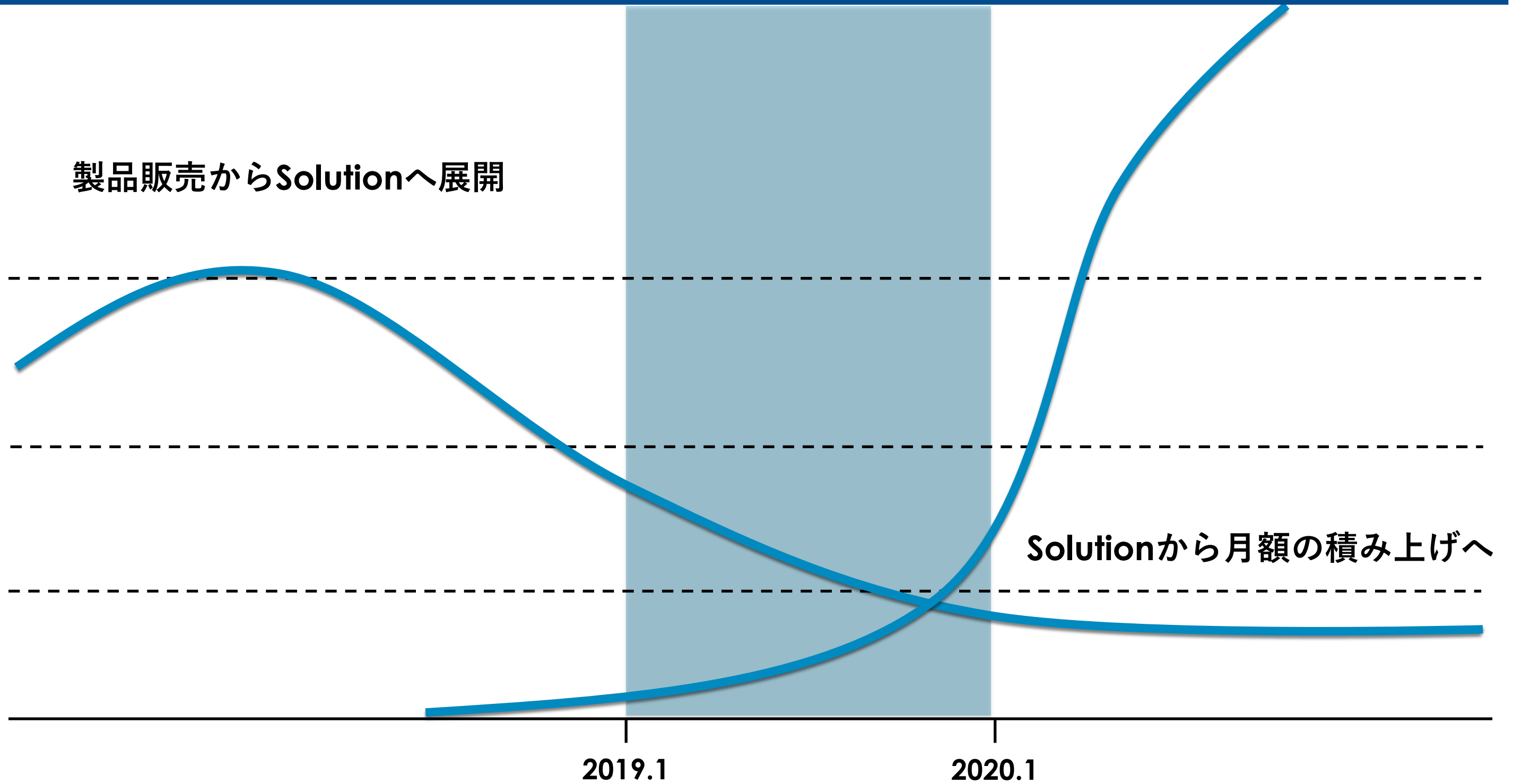


事業転換に伴い2020.1期から、売上高の区分が新しい表記に移行します



単位：百万円

		2020.1 予想
	Hospitality市場	464
	Enterprise市場	103
IoTソリューション		567
IT技術		161
ITサービス		159
合計		888



Transition to FY20

飛翔の始まり

